

第1回 河内長野市子ども・子育て会議

会議録

日 時	平成28年10月6日(木) 午後2時00分～4時00分
場 所	河内長野市役所 8階801会議室
出 席 者	会長 農野 寛治 会長代理 大方 美香 (欠席) 委 員 尾上 誠人 ・ 横田 朋子 ・ 安本 悦章 ・ 千田 利勝 ・ 山本 淑子 ・ 中野 陽子 ・ 南木 雅弘 (欠席) ・ 浦田 盾子 ・ 佐藤 貴子 ・ ・
事 務 局	子ども・子育て課
会議の公開	公 開
傍 聴 者 数	1名

1 会議次第

1. 開会

2. 議事

- ①河内長野市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況の報告について
- ②河内長野市特定教育・保育施設の利用定員の設定について
- ③その他

3. 閉会

2 審議経過

<開会>

1. 開会

(事務局あいさつ)

(委員紹介)

2. 議事

①河内長野市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況の報告について

(事務局より資料説明)

千田委員：資料の字を大きくしてほしい。できればA3サイズでグラフなど見て簡単に比較できるようお願いしたい。

「地域子育て支援拠点事業」については、幼稚園・保育所の園庭などで行っていることですか。

事務局：こちらの事業は、あいくくなどで行っているものです。

千田委員：観心寺保育園でされているのとは違うのですか。

事務局：保育所とは別事業で行っており、高向保育園も同様です。幼稚園・保育所に通っていない子どもが対象の事業です。

農野会長：地域の子どもに還元する事業で1日最低5時間行い、保護者にも学習していただき、交流をしてもらう事業です。

事務局：週3日以上、1日5時間以上で開設していただき市として対象事業に当たるか判断しております。

佐藤委員：「幼稚園における一時預かり事業」について、13か所と増えているのに、延べ人数は減少していますが。

事務局：13か所というのは幼稚園と認定こども園の数で、保育所から認定こども園へ移行する場合、施設数としては増えます。延べ人数については、就学前児童の減少を踏まえての人数です。

山本委員：「乳児家庭全戸訪問事業」の583人について、全員自宅訪問できたということでしょうか。私も担当している部分があるが、実際はほとんど行けていないように思うのですが。

事務局：583人というのは訪問数です。実際のお会いできているのはそのうちの96%となっています。残り4%も情報提供はしています。4か月検診などで100%把握はしている状態となっています。

安本委員：「実費徴収に係る補足給付を行う事業」と「多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業」の平成28年度以降の予定は。

農野会長：「実費徴収に係る補足給付を行う事業」については、早急に実施を検討していただきたいと思いますが。

事務局：「実費徴収に係る補足給付を行う事業」については、生活保護でしっかりと支給を行っているため、必要かどうか検討中です。

「多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業」は、運営を促進するための事業についてのみ国の補助があるが、平成27年度は未実施、平成28年度も現在のところ未実施となっており、市としては実施を考えておりません。

千田委員：子ども食堂についてよく耳にするがこの中には入れないのですか。

事務局：子育て支援制度の中に入っていないです。

農野会長：滋賀県の県社協さんはやっています。調理を手伝う子どもは無料などおもしろいことをやっています。社協も補助をしてもらっていると思いますが。

進行管理について、1・2歳の確保数の実績を切り分けて情報提供していただきたいと思いますが。弾力化して受け入れているとのことですが、弾力化については気になっております。

それでは次の案件をお願いします。

②河内長野市特定教育・保育施設の利用定員の設定について

(事務局より資料及び認定こども園移行状況について説明)

横田委員：園概要では美加の台保育園は認定こども園となっているが。

事務局：当初、その予定でしたが、途中で認定こども園への移行手続きを取りやめた経緯があります。

千田委員：利用定員が急に伸びた要因は。

事務局：平成29年4月から幼稚園4園が認定こども園となるので、特に1号の利用定員が増加しております。

農野会長：こちらについては、子ども・子育て支援新制度の園はカウントされるが、従来型の幼稚園の定員は含まれません。

子どもは減少しているが、保育利用率は増加している状況です。企業の育児休暇についてはどうでしょうか。

尾上委員：大半の企業の育児休暇は1歳までです。私のところは2歳までとなっていますが、そのような企業はごくわずかだと思います。

農野会長：児童の保護者が育児休暇中の場合は待機児童にカウントされますか。

事務局：育児休暇からの復帰予定で申込みが可能ではありますが、選考に落ちて、そのまま選考にかけ続けるとカウントしています。育児休暇を延長する場合はカウントしていません。

佐藤委員：保護者としては、1号の枠が少なくなり、平成29年度入園のように朝早くから並ばなければ入園できなくなっておりますが。

事務局：幼稚園は施設としての認可定員は大きいですが、認定こども園になり、大きな利用定員を設定すると単価が低くなるため、定員を下げ、単価を考えて設定した結果、このようになりました。園の経営に関わるので市としてお願いはするが、決定は園がします。

安本委員：保護者の方はわからないと思いますが、定員から在園児を引いた人数が募集人数となり、最終的には例年と同じぐらいになります。保護者の間で勘違いしたのではと思います。特に今年はそれが顕著に表れたように思われます。

事務局：市の窓口では園情報一覧を配布し、説明や園の見学を強く勧め、申込みいただいているので、できれば窓口に来ていただきたい。

尾上委員：定員変更があったとのことだが、どの様に変更なったかわからないので記載していただきたい。減らすことはないようお願いしていると思いますが。

農野会長：0歳児及び1歳児が特に不安です。

事務局：最終的には弾力化なしでの受入を目標としています。

農野会長：保育士さんが集まらない現状もあり大変だと思いますが、各幼稚園・保育所・認定こども園の方々には頑張ってくださいと思います。

浦田委員：認定こども園となることで園としてどうなるのかに興味があります。園としての方針は変わらないと思いますが。

安本委員：根本の方針はどの園も変わらないと思います。

千田委員：出生率の数値はどうなっていますか。

事務局：直近1.15・府内1.3、平成25年1.11・府内1.32、平成24年1.14、府内1.31と河内長野市は数字として小さいです。

農野会長：他にございませんか。

③その他について

（事務局より次回開催予定の案内）

<閉会>